

特定非営利活動法人 日本バイオインフォマティクス学会
第 28 回理事会議事録

日時 2023 年 3 月 29 日(水)13:30～17:30
場所 東京大学柏の葉キャンパス 駅前サテライト 6 階 605(千葉県柏市)、オンライン
出席者 五斗進理事長、山西芳裕副理事長、浅井潔理事・新理事、有田正規理事・新理事・幹事、荻島
創一理事、尾崎遼理事・幹事、清水佳奈理事・新理事、白井剛理事・幹事、竹本和広理事、福
永津嵩理事、沖真弥理事、鎌田真由美理事・幹事・地域部会長、川上英良理事、木下聖子理
事、佐藤健吾理事、遠里由佳子理事、夏目やよい理事、浜田道昭理事・幹事、松井求理事、山
下理宇理事・幹事

(表決書提出) 該当者なし

以上 20 名出席扱い

オブザーバ 奥田修二郎幹事、笠原浩太幹事、岩崎渉新理事・幹事、松本拡高新理事・幹事、水口賢司幹
事、大上雅史新理事・幹事、大林武幹事、武藤愛幹事、齋藤裕幹事、河口理紗新理事、小寺
正明新理事、松田秀雄新理事、西村陽介新監事、河合盛進監事、事務局総務牛山絵美子
議長 五斗進理事長(定款 35 条による)

配布資料

議事次第

(審議事項参照資料)

- 別紙 1.1 2022 年度事業報告書
- 別紙 1.2 2022 年度財産目録
- 別紙 1.3 2022 年度貸借対照表
- 別紙 1.4 2022 年度活動計算書
- 別紙 1.5 2022 年度計算書類の注記
- 別紙 1.6 予算対比正味財産増減計算書(理事会のみ)
- 別紙 2.1 2023 年度事業計画案
- 別紙 2.2 2023 年度予算案
- 別紙 3-6 第 28 回理事会審議事項(第三号議案～六号議案)

(報告事項参照資料)

- 別紙 h1.1 年会幹事 2024 年年会について
- 別紙 h1.2 2022 年度年会開催報告**(後日追加)
- 別紙 h1.3 2023 年度年会開催報告*(当日共有)
- 別紙 h3 認定試験幹事 2022 認定試験実施報告*
- 別紙 h4 研究会幹事 研究会開催報告
- 別紙 h5 ニュースレター幹事 報告事項
- 別紙 h6 JSBi Bioinformatics Review 幹事 Bioinformatics Review 誌報告

別紙 h8 ISCB 幹事 報告事項

別紙 h11 連携幹事 情報計算化学生物(CBI)学会との連携

別紙 h11 連携幹事 参考資料

別紙 h14 活性化幹事 要望書のルール案*

別紙 h18.1 総務幹事 会員統計 審議事項議事録(2019 年度、2022 年度後半分)

別紙 h18.2 総務幹事 2022 年度版 JSBi 年間業務予定表

別紙 h26 公募研究会 2022b-05「第 33 回バイオメディカル研究会(関西地域部会)「個人情報の扱いとデータ利活用」」

*当日幹事から直接共有された資料

**後日幹事から提出された資料

五斗理事長、山西副理事長より第 28 回理事会開催にあたって挨拶があり、議事録署名人として松井求理事、尾崎遼理事が指名され、満場異議なくこれを承認した。

議案

〈審議事項〉

第一号議案 2022 年度事業報告および収支決算の承認可否

大林幹事より別紙 1.1-1.6 を基に 2022 年度事業報告および収支決算について報告が行われた。慎重な審議の結果、2022 年度事業報告および収支決算は全会一致で可決され、総会に議案として付議することが承認された。

第二号議案 2023 年度事業計画および収支予算の承認可否

大林理事・幹事より別紙 h2.1、h2.2 を基に 2023 年度事業計画および収支予算について報告が行われた。慎重な審議の結果、2022 年度事業計画および収支予算案は全会一致で可決され、総会に議案として付議することが承認された。

第三号議案 役員の選任の承認可否(理事・監事)

3.1 新理事候補者の承認

五斗理事長は、理事 11 名が 2023 年 3 月 31 日に任期満了となるため、その改選について議場に諮ったところ、当法人の細則第2条に定める選挙(2023 年 2 月 7 日～ 2 月 21 日実施)により選出された新理事候補者 10 名が全会一致で決定され、被選任者はいずれもその就任(就任日 2023 年 4 月 1 日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

3.2 理事長の承認 および 3.3 理事長の承認および理事長の理事としての任期が、理事長の任期よりも先に終了してしまうことに伴う新理事候補者 1 名(細則第 2 条(5)による)

議長は、2023 年 3 月 31 日付での理事長の任期満了に伴い、細則第3条に基づき、山西芳裕副理事長を理事長に選任することの承認、および、細則第2条(5)に基づき、理事長の理事としての任期が、理事長の任期よりも先に終了してしまうことに伴う新理事候補者 1 名の承認について議事に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可

決決定され、被選任者は、いずれもその就任(就任日 2023 年 4 月 1 日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

3.4 副理事長の承認

議長は、総会に先立って本日 13 時 30 分より行われた、2023 年 3 月 31 日付での任期満了に伴う副会長選挙の報告を行った。当法人の定款第14条および細則第4条に基づき、理事 21 名、および新理事候補者 10 名による会長選挙の投票の結果、浜田道昭理事が過半数を獲得し副会長に指名された。浜田道昭理事を選任することを議場に諮ったところ、満場一致をもって異議なく可決決定され、被選任者はその就任(就任日 2023 年 4 月 1 日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

3.5 副理事長の理事としての任期が、副理事長の任期よりも先に終了してしまうことに伴う新理事候補者 1 名(細則第 2 条(5)による)

該当しないため、審議しなかった。

最後に改選される理事氏名を下表にまとめた。

2023年3月31日に任期終了となる理事11名		2023年4月1日に就任する理事11名	
浅井 潔	有田 正規	浅井 潔	有田 正規
荻島 創一	尾崎 遼	岩崎 渉	大上 雅史
木下 賢吾	五斗 進	河口 理紗	小寺 正明
清水 佳奈	白井 剛	清水 佳奈	松田 秀雄
竹本 和広	福永 津嵩	松本 拓高	水谷紗弥佳
山西 芳裕		山西 芳裕	

3.6 新監事の承認

議長は、監事 河合盛進会員、根本航会員が 2023 年 3 月 31 日で任期満了につきその改選方を議場に諮ったところ、満場一致をもって、河合盛進会員、西村陽介会員が監事に選任され、被選任者はいずれもその就任(就任日 2023 年 4 月 1 日)を承諾したため、総会に議案として付議することとした。

第四号議案 地域部会長の承認可否

五斗理事長より、2023 年度の地域部会長について以下の提案があり、全会一致で異議なく可決された。

遠藤 俊徳 (北海道大学大学院情報科学研究院)北海道地域部会

木下 賢吾 (東北大学大学院情報科学研究科)東北地域部会

鎌田 真由美 (京都大学大学院医学研究科)関西地域部会

森田 瑞樹 (岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科)中国・四国地域部会

竹本 和広 (九州工業大学大学院情報工学研究院)九州地域部会

池松 真也 (沖縄工業高等専門学校生物資源工学科)沖縄地域部会

第五号議案 幹事の承認可否

五斗理事長より、2023 年度の幹事について以下の提案があり、全会一致で異議なく可決された。

会長補佐: 五斗進、岩崎渉

総務: 岩崎渉

年会: 木下賢吾、山下理宇(2023 年大会長)、岩崎渉(2024 年大会長)

会計: 大林武

認定試験: 白井剛

研究会: 岩崎渉

ニュースレター: 尾崎遼、松本拡高

JSBi Bioinformatics Review: 松本拡高、尾崎遼

ダイバーシティ推進: 武藤愛

ISCB: 岩崎渉

若手: 大上雅史

渉外: 浜田道昭

連携: 鎌田真由美

広報: 齋藤裕

人材育成: 有田正規、白井剛

活性化: 奥田修二郎

個別化医療推進: 木下賢吾

Genome Informatics: 山西芳裕

第六号議案 研究会運営規定改定の承認可否

岩崎幹事より別紙 3-6 を基に規定について以下の通りに改定したい旨の説明され、これを議事に諮ったところ、全会一致で可決決定された。

【旧】

(審査)

第5条 提出された計画書は理事会が別途定める委員で構成する「審査委員会」が審査する。審査委員会は、提出された計画書に対して以下の観点から審査し、支援額を決定する。また必要に応じて申請者に計画の変更を要請する。採択結果は申請者に通知するとともに会員にも公表する。

- (1) 研究会がバイオインフォマティクスおよび関連分野の発展に寄与するか。
- (2) 研究会が法人とその会員、および広く社会に貢献するか。
- (3) 研究会の計画が実行可能で適切な費用を計上しているか。
- (4) その他、審査会が必要と定めた評価事項。

【新】

(審査)

第5条 提出された計画書は全理事および学会活性化、若手、連携、研究会、ダイバーシティ推進、人材育成等に携わる幹事によって構成される審査委員会が審査する(ただし利害関係のある者は当該公募研究会の審査には関わらないものとする)。審査委員会は、提出された計画書に対して以下の観点から審査し、支援額を決定す

る。また必要に応じて申請者に計画の変更を要請する。採択結果は申請者に通知するとともに会員にも公表する。

- (1) 研究会がバイオインフォマティクスおよび関連分野の発展に寄与するか。
- (2) 研究会が法人とその会員、および広く社会に貢献するか。
- (3) 研究会の計画が実行可能で適切な費用を計上しているか。
- (4) その他、審査会が必要と定めた評価事項。

〈報告事項〉

【各幹事、会長からの報告】

1 年会(木下賢吾理事・幹事・地域部会長、水口幹事、山下理事・幹事)

水口幹事より 2022 年度年会開催報告があった。特に 3 年振りのオンライン開催(千里ライフサイエンスセンター・大阪府豊中市)を実現し、500 名を超える参加者が参加し、会計が黒字となったことなどが述べられた。山下理事・幹事より別紙 h1.3 に基づき 2023 年度年会開催計画について報告があった。年会幹事予定者の岩崎幹事より別紙 h1.1 に基づき 2024 年度年会開催計画の進捗について報告があった。

また、大林幹事より、2022 年度年会開催報告と 2023 年度年会開催計画については、年会開催規定第 9 条(開催計画)および第 10 条(開催報告書)に基づき、それぞれ資料に基づき報告及び理事の承認を得る必要があるとの指摘があり、後日メール審議を行うこととなった。

2 会計(大林幹事、笠原幹事)

大林理事・幹事より、インボイス制度への対応方針については、現状維持(適格請求書発行事業者にならない)とすること、2023 年度は消費税納税年度であることが改めて報告された。また、本体会計と事業会計(主に年会事業)の報告書に会計監査時にズレが生じてしまう問題について言及があり、後日、年会幹事と会計幹事にてミーティングを行うこととなった。

3 認定試験(白井理事・幹事)

白井理事・幹事より、別紙 h3 に基づき 2022 年度認定試験の開催報告があった。また、2023 年度より年 2 回の開催(1 回目 7-8 月、2 回目 11-12 月)を行うことが報告された。大林幹事より、2023 年度開催の収支報告については、2024 年 1 月までに提出するよう依頼があった。

4 研究会(岩崎幹事)

岩崎理事長・幹事より、別紙 h4 に基づき、2022 年度公募研究会の開催報告・2023 年度公募研究会の採択報告があった。

5 ニュースレター(尾崎理事・幹事、松本幹事)

尾崎理事・幹事より、別紙 h5 に基づき、ニュースレターに関する報告があった。次回第 43 号ニュースレターは年会開催前までに発行を目指していること、また、ニュースレターの一部のブログサービスである note への掲載について、2022 年 9 月公開後、約 1000 ビューとなったことが報告された。

- 6 JSBi Bioinformatics Review (松本幹事、尾崎幹事・理事)
松本幹事より、別紙 h6 に基づき、JSBi Bioinformatics Review に関する報告があった。6 月上旬に第 4 巻 1 号(2023)、11 月には 4 巻 2 号(2023)の公開を予定していることが報告された。特に 4 巻 2 号(2023)について、執筆希望者や推薦などの依頼があった。
- 7 ダイバーシティ推進(武藤理事・幹事)
武藤理事・幹事より、2022 年 IIBMP 実行委員会として、今回より行動規範を追記したことが改めて報告された。また、オブザーバー加盟学協会として参加している男女共同参画学協会連絡会の分担金は、今後正式加盟学協会となっても変更なしであることが報告された。
- 8 ISCB(岩崎幹事)
岩崎幹事より、別紙 h8 に基づき、ISCB に関する報告があった。特に、岩崎幹事の ISCB Board Member の任期が 2024 年 1 月で終了することから、ISCB Board Member 公募について積極的に推薦をお願いする旨の依頼があった。
- 9 若手(大上理事・幹事)
大上理事・幹事より、IIBMP2022 のキャリアパス・ダイバーシティ合同セッションにて、「博士人材の多様なキャリアパス」についてのセッションを開催したこと、Oxford Journals – Japanese Society for Bioinformatics Prize について対応したことが報告された。また、福永理事より生命情報若手の会との連携状況について質問があり、大上理事・幹事より、現在はそれぞれが独立しているが連携の可能性があれば、検討していきたいと回答した。
- 10 渉外(浜田理事・幹事)
浜田幹事より、2022 年度には賛助会員が一社退会したことが報告された。
- 11 連携(鎌田理事・幹事・地域部会長)
鎌田理事・幹事・地域部会長より、別紙 h11 に基づき、生物科学学会連合での活動について報告があった。また、生物科学学会連合の ML を活用できることについて案内があった。その他、連携の一環として、齋藤裕会員(2022 年 OJP 受賞者)が CBI 学会で講演し、江崎先生(2022 年 CBI 学会若手奨励賞受賞者)が 2023 年度 JSBI 年会にて講演を行う予定であることが報告された。
- 12 広報(齋藤幹事)
2023 年年会ホームページについて、現状を確認するため、山下理事・幹事とミーティングをすることとなった。
- 13 人材育成(有田幹事、白井理事・幹事)
報告は特になかった。

14 活性化(奥田幹事)

奥田幹事より、別紙h14に基づき、要望書の依頼への対応ルール案について報告があった。文章などの確認を行い、後日メール審議にて承認が得られ次第、ホームページに掲載することとなった。

15 個別化医療推進(木下賢吾理事・幹事)

特に報告はなかった。

16 Genome Informatics(五斗理事長・幹事)

特に報告はなかった。

17 会長(五斗理事長・幹事)

五斗理事長より、後藤名誉会員からの寄付金の有効活用について検討中であることが報告され、用途(賞金・旅費・参加費補助)、利用期間(単発・継続)、効果などを検討し、後日、活用方法についてメール審議を行うこととなった。

18 総務(岩崎幹事)

岩崎理事・幹事より別紙 h18 に基づき、会員数等の統計情報・メール審議(2022 年 9 月～2023 年 3 月、2019 年 4 月～2020 年 3 月)・総務の年間作業表について報告があった。白井理事・幹事より入会特典の効果測定・定着率確認を行うのはどうかとの提案があった。総務にて、確認することとなった。

19 会長補佐(木下賢吾理事・幹事・地域部会長、岩崎幹事)

特に報告はなかった。

【地域部会長からの報告】

20 北海道地域部会(遠藤地域部会長)

特に報告はなかった。

21 東北地域部会(木下地域部会長)

特に報告はなかった。

22 関西地域部会(鎌田地域部会長)

特に報告はなかった。

23 中国・四国地域部会(森田地域部会長)

特に報告はなかった。

24 九州地域部会(山西地域部会長)

山西副理事長・地域部会長より、地域部会長が竹本和広会員(九州工業大学大学院情報工学研究院)に

代わることが報告された。

25 沖縄地域部会(池松地域部会長)

特に報告はなかった。

26 公募研究会 第 33 回バイオメディカル研究会(鎌田真由美地域部会長)

2022 年 12 月 7 日に開催された「第 33 回バイオメディカル研究会(関西地域部会)「個人情報の扱いとデータ利活用」」について別紙 h26 をもとに確認を行った。

27 監事からのコメント(根本監事、河合監事)

河合監事より、年会収支簿と本体収支簿の記載方法のずれについて改善依頼があった。その他、学会本体の資産が年々増えているが、資産の活用方法について例えば、女性会員の増加や年会での託児所の設置などの提案があった。清水理事より、子供を年会に連れて行くにあたりかかる経費の補助金を申請するという方法もあることが述べられた。また、認定試験事務局の人件費に関しても、懸念事項として上がった。

以上

以上により議事が終了し、議長は 17 時 30 分閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするために、議長および議事録署名人において次に記名押印する。

2023 年 3 月 29 日

特定非営利活動法人日本バイオインフォマティクス学会

理 事 長 五斗 進 印

議事録署名人 尾崎 遼 印

議事録署名人 松井 求 印